

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 3 日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. トイレ整備や トイレ対策の 推進は	トイレは、我々が健康で安心して生活するためにかかすことのできない生活基盤です。国際連合の持続可能な開発目標（SDGs）の目標6では「安全な水とトイレを世界中に」を掲げています。これは、トイレが単なる生活設備ではなく、人々の健康や衛生を守り、人権を支える重要なインフラであることを意味しています。そこで町民の利便性向上と誰もが安心して利用できる公共施設づくりの観点から、トイレ整備やトイレ対策について、伺います。 （1）担当課ごとにお伺いします。 ① 小中学校、公民館、カルスタすぎと、国体記念運動広場、すぎとピア、西近隣公園、倉松公園、役場のトイレの洋式化の現状（洋式化率）と洋式化の今後の計画は。 ② 温水洗浄便座の設置状況と今後の計画は。 ③ トイレの清掃を含む維持管理は。 （2）トイレ対策として、 ① 災害時のトイレ対策の現状は。 ② トイレトレーラー導入の提案をしてきました。春日部市では令和7年12月にトイレカーを導入しています。トイレトレーラーやトイレカーなど導入する考えは。 ③ トイレ対策としての災害協定は。 ④ 杉戸夏まつりや古利根川流灯まつり、杉戸町新春マラソン大会等のイベント時のトイレ対策は。	町長 副町長 教育長 教育総務課長 社会教育課長 都市施設整備課長 危機管理課長 管財契約課長 高齢介護課長 担当課長

8 月 3 日 午前 8 時 3 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 東武動物公園 駅東口通り線 を含む周辺の 賑わい創出の 成果は	令和7年10月17日、杉戸町が「ココティすぎと」と一体で推進している官民連携によるまちづくりの取組である「一般財団法人都市みらい推進機構」主催で国土交通省後援の土地活用モデル大賞において、審査委員長賞を受賞しました。大変喜ばしいことです。 そこで、伺います。 (1) 東武動物公園駅東口エリアにおいて、「誰もが主役になれるまちづくり＝圧倒的ホームタウン」をテーマに公共空間の活用と官民連携による地域価値向上に挑戦している点が高く評価されたことが受賞の理由であるが、これまで、具体的にどのような取組を行ってきたことが、評価されたのか。 (2) 「ココティすぎと」が令和6年4月にオープンして2年半が経過し、土地活用モデル大賞審査委員長賞を受賞するなど、多くの住民の方から利用され、賑わい創出の中心となる複合施設に意義づけられていると感じている。 コミュニティーセンター、中央児童公園を含めた園庭広場、子育て支援センターたんぽぽ、ふるとねテラス、それぞれの成果は。 (3) アンケート等利用者の声や町民の声を拾っているのか。 (4) 要望や課題などを踏まえた取組の成果は。 (5) 今後の展望は。	町長 副町長 教育長 市街地整備推進室長 住民協働課長 子育て支援課長 担当課長
3. 新庁舎整備の 検討は	令和7年11月25日の全員協議会で、窪田町長は、新庁舎整備の今後の方向性について、昨今の世界情勢に伴う建築資材の高騰や労務費単価の値上がり等の中で、町の財政状況等を鑑み、新庁舎整備の検討について「今任期中は休止」とすると示しました。 窪田町政の2期目がスタートしましたが、窪田町長は、新庁舎整備の検討を進めていく考えはあるのか、伺います。	町長